

創刊に寄せて

学 長 小 原 喜 重 郎

この度、本学教養部の文系の研究者が中心となって「岩手医科大学医事学研究会」を結成し、年刊誌として『医事学研究』を発刊することになったことに対し、まず心から祝意を表したいと思う。

医学の対象が人間の生命にあることは誰しも異存のない自明の理であるが、それでは、人間の生命とは何かということになると、その答えのためには、従来の医学の枠を超えた数多くの学問の成果を借りなければならぬであろう。二十一世紀を目前に控えた今日の世界が、高度に発達した自然科学的個別研究の成果の影にかくれて、これまでとかく見失われがちだった人間生命の全体像の再構築を求めていることは周知の通りである。

そうした状況の中であって医学も、他の諸科学、なかでも、人文や社会の諸科学との新たな結びつきを必要としている時期に、本学におけるこの方面の研究者たちが、自らの専門領域と医学・医療とが関連する領域の研究に進んで着手し、新しい分野の開拓を手がけ、すでに学内外からの評価を受けていることは誠に喜ばしい限りである。

今回、それらの成果の一部を発表するための本研究誌が公刊されるに際し、学長として関係諸氏の努力を多とし、本誌がこの領域における必読の文献として発展することを願ってやまない。